

硫黄島鳥類目録 (1999年10月-2000年8月)

時田賢一¹・渡辺義昭²

キーワード：鳥相，硫黄島

はじめに

硫黄島は日本列島(東京)より南に1250km離れた太平洋上に点在する硫黄列島の一島嶼である。今まで硫黄島の鳥相の報告は極端に少なく、1911年内田清之助の「硫黄島産鳥類数種に就いて」、1912年黒田長禮の「硫黄島にて新たに獲りたる数種の鳥類に就いて」、1930年初山徳太郎の小笠原諸島並びに硫黄島の鳥類に就いて」(樋口 1984)、1992年三原昭男の1990年8月3日から1992年3月25日の約1年8ヶ月間の観察記録「硫黄島に生息する鳥類について」が知られている。本稿は筆者の一人渡辺義昭が1999年10月13日から2000年8月9日までの約10ヶ月間海上自衛隊硫黄島航空基地隊に勤務する機会を得たので、その間硫黄島の鳥類相を可能な限り明らかにするため、観察した鳥類を報告する。なお、今後の硫黄列島の鳥類及び渡り鳥調査の一助となることを期待したい。

調査地硫黄島について

硫黄島は1543年にベルナルド・デ・トレス(スペイン)によって発見され、1784年にゴア(イギリス)が太平洋探検時にこの島を認めサルファーアイランド(硫黄島)と命名している。その後、1805年にロシアの航海者クルセンステルンがこの島を認めたという記録を最後に、長く無住人無所属の島として放置されていた。(硫黄島航空基地 1999)

日本人が定住するようになったのは1888年とされており、1891年に日本領土に編入され、

硫黄島と命名し小笠原支庁管轄となる。住民は、1943年に192戸1018人が記録されている。その後太平洋戦争勃発により島民は強制疎開。1945年2月19日、米軍による上陸作戦が敢行され、同年3月26日硫黄島における組織的戦闘は終了した。1968年、小笠原諸島の返還により再び日本領土となるが、かつての集落はジャングルとなり、膨大な数の不発弾の存在、生活手段の確保の困難さ等の問題で、旧島民が復帰できる現状ではないと言う。現在海空自衛隊が常駐している他、関係者以外の硫黄島への立ち入りは困難となっている。硫黄島(24°47'N 141°19'E)は東京から南へ約1250kmに位置する、面積は約22km²であり、南北に約4.5km、東西に約8.3km、南端に169mの摺鉢山がある他は、ほぼ平坦な島である(図1参照)。海底地形から見ると直径約40km、高さ1500~2000mの火山の頂にあたる。火山活動は活発であり、地殻変動も著しく、断層、噴気口が散在している。火山活動によると推測される隆起現象は、年間最大で30cmにも達する。亜熱帯海洋性気候に属し年平均気温は23.6℃、最高気温は31~32℃、最低気温は15~16℃である。過去10年程の年平均降水量は1300mmである。植生の特徴は、戦時中の戦闘により全島の緑が消滅した。戦後アメリカ軍が航空機によりギンネムの種を撒き、全島全域にギンネム *Leucaena leucocephala* が優先している。しかし戦後50年以上経過した今日、在来植物の繁茂が見られるようになった。海岸付近にはゲンバイヒルガオ *Ipomoea pes-*

¹ 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3 我孫子市鳥の博物館

² 〒277-8661 千葉県東葛飾郡沼南町藤ヶ谷海上自衛隊下総基地運航隊写真班 海上自衛隊下総航空基地隊

caprae, スナズル *Cassytha filiformis*, ハマゴウ *Vitex rotundifolia* がみられ, 海岸付近の丘陵地帯にはクサトベラ *Scaevola sericea* が優先している. 島の大半はギンネムが占有する林が広がっているが, その中にガジュマル *Ficus microcarpa*, モモタマナ *Terminalia catappa*, タコノキ *Pandanus boninensis*, オオゴンカズラ *Rhaphidophora aurea* 等の亜熱帯植物のジャングルが点在している. またアオノリュウゼツラン *Agave americana*, サイザルアサ *Agave sisalana* が所々に群生し, 随所に硫黄蒸気の噴出する荒地がある. その他の地域にはランタナ (シチヘンゲ) *Lantana camala*, ホナガンソウ *Stachytarpheta jamaicensis* 等の低草木が繁茂している. それ以外に, パパイヤ *Carica papaya*, パイナップル *Ananas comosus*, ヤシの仲間等も見られる. 島の中央部には東西に向かって長さ2650mの滑走路があり, その南側に海空自衛隊基地施設が隣接している. 水場は島の中央部にある3箇所の池と, 滑走路南部の貯水槽以外にはない. 島の周囲には数箇所に岩礁が点在しているが, その中でも北西約1.5kmに位置する監獄岩と称する岩礁が最大である. 長さは南北に約1km幅約250mの大きさで, 主として安山岩質の溶岩で形成されている. 中央部にグンバイヒルガオ, スナズル, ハマゴウ等の低草木がある. 灌木等は殆どなく, 一部わずかにクサトベラが見られる. その他, 硫黄島の北約70kmの位置に北硫黄島があり, 南約60kmの位置に南硫黄島がある.

調査方法

硫黄島航空基地隊に着任した1999年10月13日から, 離任した2000年8月9日までの約10ヶ月間, ただし, 父島基地分遣隊 (1999年11月2日から4日) と南鳥島航空派遣隊 (2000年5月29日から31日) への外勤と休暇期間 (1999年12月21日から2000年1月6日, 3月24日から3月31日, 6月27日から7月11日) を除き, 勤務時間外に行動可能な限り調査し, 生息数, 行動, 繁殖の有無等の観察をした. 平日は主に庁舎周辺から滑走路東部周辺の芝生上を中心に調査し, 休養日には滑走路周辺, 島の中央部にある池, 貯水槽を重点におき, 植物園,

摺鉢山周辺, 釜岩周辺, 釜岩から監獄岩等を調査した (図1参照). 監獄岩へは海上自衛隊が実施するポート走法訓練時に参加し, 2000年2月11日と5月28日の二度上陸し調査する機会を得た. 調査には自転車及び徒歩で移動しながらセンサスし, 8倍双眼鏡, 20倍望遠鏡を利用し, 併せてスチル写真でも記録した. 今回の調査では移入種及び未確認種を含め13目28科87種を記録した.

PODICIPEDIFORMES カイツブリ目

PODICIPEDIDAE カイツブリ科

カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*

1999年11月14日に中央部の池にて幼羽から冬羽に換羽中の1羽を観察した. その後貯水槽にて2羽を観察, うち1羽は中央部の池で観察したものと同一個体と思われた. 3月中旬から換羽が始まり, 3月21日の終認記録時には2羽ともほぼ夏羽に変わっていた.

PROCELLARIFORMES ミズナギドリ目

PROCELLARIIDAE ミズナギドリ科

シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca*

2000年2月17日に貯水槽にて死体一体を発見した. 外傷はなく死因は不明だった. その後

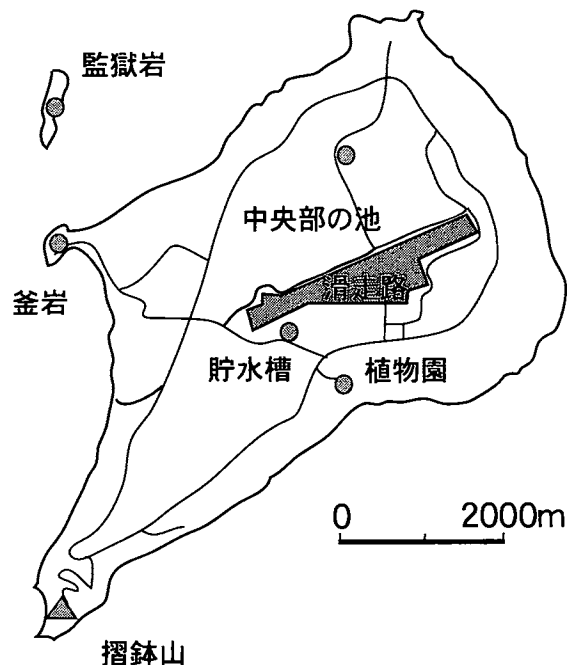


図1 硫黄島地図

庁舎地区周辺で数体の死体を発見した。いずれも外傷はなく死因は不明であった。また5月21日の夜、釜岩にて車のヘッドランプに集まってきた数羽を観察。また庁舎地区において、夜間上空からミズナギドリ類と思われる声を何度も聞いた。しかし光に集まる習性があるのか、もしくは夜間に海岸及び陸上に現れるか。理由は確認できなかった。

アナドリ *Bulweria bulwerii*

2000年2月11日に監獄岩から、洋上を飛行している1羽を観察した。

オナガミズナギドリ *Calonectris leucomelas*

2000年5月14日に、釜岩から洋上を飛行している多数の個体を観察した。5月21日の夜、釜岩にて車のヘッドランプに集まってきた数羽を観察。また庁舎地区において、夜間上空からミズナギドリ類と思われる鳴声を何度も聞いた。しかし、光に集まる習性があるのか、もしくは夜間に海岸及び陸上に現れるのか、理由は確認できなかった。7月30日に摺鉢山南部の海岸にて落鳥個体1羽を観察した。

PELECANIFORMES ペリカン目

PHAETHONIDAE ネットイチョウ科

アカオネットイチョウ *Phaethon rubricauda*

2000年4月15日に監獄岩から摺鉢山方面へ飛行する成鳥1羽を確認、その後5月16日に貯水槽上空を飛行する成鳥1羽、6月17日に摺鉢山南西部を巡回する成鳥4羽、8月6日に中央部の池上空を飛行する成鳥1羽の計4回観察した。過去に摺鉢山にて繁殖していた記録があるが、筆者の調査では繁殖は観察できなかった。

SULIDAE カツオドリ科

カツオドリ *Sula leucogaster plotus*

1999年10月17日に沈船海岸沖にて1羽を観察し、2000年1月30日に4羽を観察した。その後4月2日に釜岩から監獄岩上空を飛行する30羽前後を観察した。5月28日の監獄岩上陸時約30羽を観察したが、繁殖活動は見られなかった。その後8月6日まで1から8羽を観察した。

FREGATIDAE グンカンドリ科

オオグンカンドリ *Fregata minor*

2000年6月8日に摺鉢山上空を巡回する成鳥雌1羽を観察した。

CICONIFORMES コウノトリ目

ARDEIDAE サギ科

ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*

2000年1月10日に貯水槽にて幼鳥1羽を観察した。その後2月17日に成鳥1羽の死体を観察、外傷は見られず死因は不明だった。2月22日から再び幼鳥1羽を観察し5月14日に終認となる。4月9日早朝には5羽以上を観察、4月12日、4月30日には2羽を観察した。

ササゴイ *Butorides striatus*

1999年11月21日に貯水槽にて1羽を観察。その後2000年1月10日に貯水槽にて1羽、2月11日に監獄岩海岸にて1羽、2月17日から5月22日まで貯水槽にて1羽を観察した。

アマサギ *Bubulcus ibis*

1999年10月13日から滑走路周辺の芝生上、中央部の池周辺、貯水槽等で観察した。主にチュウサギと行動を共にし、15羽前後が越冬したと思われる。3月下旬頃から夏羽の個体が見られはじめ、4月中旬にはほぼ全ての個体が夏羽に変わった。最大観察数は2000年4月16日の22羽であり、5月26日の9羽が終認記録となる。その後8月5日に1羽を観察した。

ダイサギ *Egretta alba*

観察期間中、貯水槽及び中央部の池にて常時1から3羽を観察した。

チュウサギ *Ardea intermedia*

1999年10月21日に4羽を観察し、その後中央部の池周辺、貯水槽等で常時10数羽を観察した。主にアマサギと行動を共にし、10羽前後が越冬したと思われる。最大観察数は2000年3月17日の14羽であり、6月11日の1羽が終認記録となる。

コサギ *Egretta garzetta*

1999年10月23日に1羽を観察し、その後貯水槽などにて常時1～5羽を観察した。2000年6

月12日の1羽が終認記録となる。

アオサギ *Ardea cinerea*

1999年11月6日から2000年5月21日の間に、貯水槽等にて1羽を観察した。

ANSERIFORMES カモ目

ANATIDAE カモ科

マガモ *Anas platyrhynchos*

1999年11月21日と23日に中央部の池にて雄3羽、雌1羽を観察した。その後12月18日から2月27日の間に、雄1羽、雌1羽を観察した。

カルガモ *Anas poecilorhyncha*

1999年11月21日から2000年2月27日の間に、中央部の池にて1羽を観察した。

コガモ *Anas crecca*

1999年11月5日から11月23日、12月18日、2000年2月19日から4月9日の間に、貯水槽にて5羽前後を観察した。最大観察数は1999年12月18日の12羽である。

ヒドリガモ *Anas Penelope*

1999年11月5日から2000年2月6日の間に、中央部の池にて7羽前後を観察した。最大観察数は1999年11月23日の12羽である。

オナガガモ *Anas acuta*

1999年11月5日に中央部の池にて30羽前後の群れを観察した。その後11月16日まで30~40羽を観察し、11月21日に10羽前後を観察、以後3月11日まで雄3羽、雌3羽を観察した。3月18日の観察では雄1羽、雌2羽となり3月19日が終認記録となる。なお中央部の池とは別に、貯水槽にて雄1羽を11月21日から8月8日まで観察した。この個体は飛ぶことが出来ないようだった。6月下旬から換羽が始まり、7月上旬に換羽が終了しエクリプスとなった。

ハシビロガモ *Anas clypeata*

1999年11月13日から21日の間、中央部の池にて1羽を観察した。

ホシハジロ *Aythya ferina*

1999年12月12日に中央部の池にて雄1羽を観

察し、12月19日から中央部の池にて雄1羽雌1羽を観察、1月中旬から貯水槽で見られるようになり、3月11日に終認記録となる。

キンクロハジロ *Aythya fuligula*

1999年11月5日に中央部の池にて11羽を観察した。その後徐々に数を減らし、2000年1月9日から貯水槽にて雄1羽、雌3羽を観察。3月17日から雄1羽、雌1羽となり、3月31日から雄1羽のみの観察となり、4月6日に終認記録となる。

FALCONIFORMES タカ目

ACCIPITRIDAE タカ科

*ハイタカ *Accipiter nisus*

1999年10月27日に滑走路東部で1羽、及び11月5日に中央部の池で1羽のハイタカと思われる個体を観察したが、確認はできなかった。

FALCONIDAE ハヤブサ科

チョウゲンボウ *Falco tinnunculus*

1999年11月19日に滑走路東部で1羽を観察し、その後11月25日、2000年1月15日に同じく滑走路東部で1羽を観察し、2月20日と3月3日には南海岸で1羽を観察した。

GALLIFORMES キジ目

PHASIANIDAE キジ科

キジ *Phasianus colchicus*

島内全域に幅広く分布し、個体数も多く繁殖している。尚、硫黄島に生息しているキジは1969年の硫黄島戦没者顕彰碑設立式典にて、岸元首相が放鳥したものである。

GRUIFORMES ツル目

RALLIDAE クイナ科

*ヒメクイナ *Porzana pusilla*

ヒメクイナと思われる個体を2000年3月18日に中央部の池にて観察した。バンの約半分の大きさで後姿の飛翔のみの確認であり、ヒメクイナの可能性が最も高いと思われる。

バン *Gallinula chloropus*

中央部の池にて常時20~30羽を観察した。また稀に貯水槽にて1羽を観察した。2000年5

月5日に雛4羽を観察し、その後8月8日まで数羽の雛と幼鳥を観察した。

オオバン *Fulica atra*

1999年11月6日から2000年3月21日の間、貯水槽にて常時1羽を観察した。

CHARADRIIFORMES チドリ目

CHARADRIIDAE チドリ科

コチドリ *Charadrius dubius*

1999年10月13日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。その後2000年2月6日に中央部の池にて1羽、3月5日から3月21日の間に滑走路東部の芝生上及び中央部の池にて1から2羽を観察した。

メダイチドリ *Charadrius mongolus*

1999年11月13日と14日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。その後2000年5月3日と5日に中央部の池にて夏羽1羽を観察し、5月14日に沈船海岸にて夏羽2羽を観察した。

ムナグロ *Pluvialis fulva*

1999年10月13日から、主に滑走路周辺の芝生上を中心に全島全域で多数観察した。滑走路東部のみ個体数の調査を実施し、常時百羽前後を確認した。最大観察数は2000年1月12日の159羽である。3月下旬から換羽がはじまり、4月下旬にはほとんど全ての個体が夏羽に変わった。4月下旬から徐々に数を減らし、6月26日の1羽が終認記録となる。その後8月8日に滑走路中央部の芝生上にて2羽を観察した。

タゲリ *Vanellus vanellus*

1999年12月12日から12月19日の間に、滑走路東部にて1羽を観察した。

SCOLOPACIDAE シギ科

キョウジョシギ *Arenaria interpres*

1999年10月14日から50～100羽前後の群を観察した。おもに滑走路周辺の芝生上で活動し、最大観察数は2000年4月16日の131羽である。3月下旬から換羽がはじまり、4月下旬にはほとんど全ての個体が夏羽に変わった。5月上

旬から急速に数を減らし、6月24日の10羽が終認記録となる。その後7月30日に釜岩にて1羽を観察、8月6日に同じく釜岩で5羽、8月8日に滑走路東部の芝生上にて14羽を観察した。

トウネン *Calidris ruficollis*

1999年10月22日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察し、23日に2羽を観察した。その後11月23日にトウネンと思われる個体を2羽観察した。

ヒバリシギ *Calidris subminuta*

1999年10月23日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した、その後2000年4月30日と5月14日に中央部の池にて夏羽1羽を観察した、

アメリカウズラシギ *Calidris melanotos*

1999年10月22日から24日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。その後2000年4月25日に同じ場所で成鳥冬羽と思われる個体を1羽観察した。

ウズラシギ *Calidris acuminata*

1999年10月22日から11月8日の間に、滑走路東部の芝生上と中央部の池にて成鳥冬羽2羽以上と幼鳥1羽を観察した。その後5月3日と5月5日に夏羽1羽を観察し、5月18日に夏羽2羽を観察した。

ハマシギ *Calidris alpina*

1999年10月17日と21日に、滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。

サルハマシギ *Calidris ferruginea*

2000年5月21日と22日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。

コオバシギ *Calidris canutus*

2000年5月15日から5月22日の間に夏羽1羽を観察した。滑走路周辺の芝生上及び貯水槽で見られた。

エリマキシギ *Philomachus pugnax*

1999年10月15日から11月14日の間に、滑走路周辺の芝生上にて雄1羽を観察。キョウジョ

シギ群と行動を共にしていた。

コモンシギ *Tryngites subruficollis*

2000年5月22日に滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。コオバシギ・サルハマシギ・ムナグロと行動を共にしていた。足がオレンジがかった黄色でとてもめだっていた。体色はクリーム色でとても小さかった。おそらく成鳥夏羽と思われる。

コアオアシシギ *Tringa stagnatilis*

1999年11月5日から23日の間に、中央部の池等にて1羽を観察、21日には2羽観察した。2000年4月30日から5月26日の間に、中央部の池及び貯水槽にて夏羽1羽を観察した。

アオアシシギ *Tringa nebularia*

1999年5月14日に貯水槽にて夏羽2羽を観察した。

アカアシシギ *Tringa tetanus*

2000年8月6日に中央部の池にて1羽を観察した。

クサシギ *Tringa ochropus*

1999年11月27日に中央部の池にて1羽を観察した。

タカブシギ *Tringa glareola*

1999年10月27日から30日の間と2000年1月16日に、滑走路東部の芝生上にて1羽、2月17日から22日の間に貯水槽にて1羽、4月16日と8月8日に中央部の池にて1羽観察した。

メリケンキアシシギ *Tringa incana*

2000年5月14日に沈船海岸と釜岩にて各1羽を観察した。その後6月4日まで釜岩で1羽を観察、徐々に換羽が進み夏羽に変わった。

キアシシギ *Tringa brevipes*

1999年10月24日から2000年7月30日までの間に、海岸周辺及び中央部の池、貯水槽にて数羽を観察した。2000年5月3日と5月5日に中央部の池にて5羽の群れを観察した。

イソシギ *Tringa hypoleucos*

1999年10月17日から2000年5月26日の間に、中央部の池及び貯水槽等にて2羽を観察した。その後7月30日に2羽以上を観察した。

ソリハシシギ *Tringa cinerea*

2000年5月14日と5月15日に貯水槽にて5羽を観察、5月16日には2羽を観察した。

チュウシャクシギ *Numenius phaeopus*

2000年5月14日に釜岩にて1羽を観察した。

タシギ *Gallinago gallinago*

1999年10月23日から2000年5月26日の間に、滑走路周辺の芝生上、中央部の池にて常時1~3羽を観察した。

*ハリオシギ *Gallinago stenura*

2000年4月25日にハリオシギと思われる個体を滑走路東部で1羽観察した。体の半分が草に隠れていて、頭と上体の一部、飛翔のみの観察。アメリカウズラシギと一緒にいて、大きさはアメリカウズラシギとほぼ同大に見えた。飛翔時に次列風切後縁の白線は見られず、頭が大きく嘴がかなり短く体色はやや淡色だったことからハリオシギの可能性がもっとも高いと思われる。

*オオジシギ *Gallinago hardwickii*

1999年12月18日に滑走路東部の芝生上にて2羽を観察。2000年3月5日に1羽、4月30日に1羽、5月3日から6日に2羽前後を中央部の池にて観察した。(オオジシギの可能性が大ではあるが、チュウジシギの可能性も否定できない)

RECURVIROSTRIDAE セイタカシギ科

セイタカシギ *Himantopus himantopus*

1999年11月21日から23日の間に中央部の池にて1羽を観察。その後2000年1月8日から16日の間に1羽、2月6日に1羽を観察した。

GLAREOLIDAE ツバメチドリ科

ツバメチドリ *Indian Pratincole*

2000年3月19日に滑走路周辺の芝生上にて成

鳥1羽を観察した。その後4月16日から5月21日の間に1～2羽を4度観察した。

LARIDAE カモメ科

ユリカモメ *Larus ridibundus*

1999年11月27日と29日に貯水槽にて1羽を観察した。

オオセグロカモメ *Larus schistisagus*

2000年1月10日、1月16日に、釜岩にて第2回冬羽1羽を確認した。

セグロカモメ *Larus argentatus*

2000年1月10日、1月16日、1月26日、2月11日に、釜岩にて第1回冬羽1羽を観察した。

ワライカモメ *Larus atricilla*

2000年6月26日に貯水槽にて第2回夏羽1羽を観察した。当初ワライカモメであるかどうか不明であったが記録写真よりワライカモメであることが判明した。(氏原、Reid.M 私信)なお、日本初記録であると当初考えられたが、その後、岡村雄三氏が茨城県波崎に於いて2000年6月17日の観察記録(未発表)があることが判明した。また2000年9月には坂田樹美氏による愛知県豊川の記録(未発表)がある。

ハジロクロハラアジサシ *Chlidonias leucopterus*

2000年5月14日 釜岩から洋上を飛行している成鳥夏羽1羽を観察。その後、滑走路上及び貯水槽にて成鳥夏羽22羽、幼鳥2羽、合計24羽の群を観察した。16日まで多数確認したが、18日に成鳥夏羽1羽、21日に成鳥夏羽1羽と幼鳥2羽を観察した。その後6月10日と12日に成鳥1羽を観察した。

クロハラアジサシ *Chlidonias hybridus*

1999年10月23日に貯水槽にて5羽を観察した。11月12日の観察では、滑走路周辺の芝生上を低空飛行し、地上の昆虫等を食べているようだった。その後徐々に数を減らし、12月4日から成鳥冬羽1羽を2000年3月21日まで観察した。

アジサシ *Sterna hirundo*

2000年5月14日に釜岩周辺で7羽、貯水槽で4羽以上を観察した。5月22日まで貯水槽周辺に生息し、5月16日の8羽が最大であった。その後6月1日に2羽、7月30日に1羽を貯水槽で観察した。

セグロアジサシ *Sterna fuscata*

2000年2月11日の監獄岩上陸時に4羽を観察した。5月28日の監獄岩上陸時には繁殖を観察した。釜岩付近の海岸でも少数観察している。

クロアジサシ *Anous stolidus*

2000年2月11日の監獄岩上陸時に繁殖を確認した。また5月28日の監獄岩上陸の際にも繁殖を確認している。釜岩付近の海岸でも少数観察している。

ヒメクロアジサシ *Anous minutus*

2月11日の監獄岩上陸時に岩盤の裂け目の奥に卵が産み付けられているのを観察した。また、5月28日の監獄岩上陸の際には岩盤の裂け目の他、クサトベラの灌木上での繁殖も確認した。クサトベラの枝上に枯れ草や落ち葉等で簡単な巣が4巣あり、内3巣に各1個の卵があり2巣で抱卵を確認した。詳細については報告書を準備中。

COLUMBIFORMES ハト目

COLUMBIDAE ハト科

カラスバト *Columba janthina*

1999年11月7日に植物園にて1羽を観察した。キダチトウガラシの実もしくは花を盛んに食べていた。その後11月23日に同所で1羽を観察した。亜種名アカガシラカラスバト *Columba janthina nitens*。

APODIFORMES アマツバメ目

APODIDAE アマツバメ科

アマツバメ *Apus pacificus*

1999年11月12日に滑走路東部に1羽を観察、11月19日に摺鉢山山頂にて2羽を観察した。

CORACIIFORMES ブッポウソウ目

UPUPIDAE ヤツガシラ科

ヤツガシラ *Upupa epops*

2000年2月23日と7月30日に、南海岸の中央部の草原にて1羽を観察した。

PASSERIFORMES スズメ目

HIRUNDINIDAE ツバメ科

ショウドウツバメ *Riparia riparia*

1999年11月1日にイワツバメ群中に2羽以上を観察した。

ツバメ *Hirundo rustica*

1999年10月27日まで10数羽が見られたが、その後稀に1~2羽観察した。3月中旬から20羽前後が観察され、4月13日には50羽以上の群を観察した。5月上旬から数を減らし、終認記録は2000年6月8日の4羽である。

イワツバメ *Delichon dasypus*

1999年11月1日に20羽前後の群れを観察した。

MOTACILLIDAE セキレイ科

ハクセキレイ *Motacilla alba*1999年10月23日に1羽を観察し、島内各地で常時数羽を観察した。12月6日に8羽以上の群を観察し、終認記録は2000年3月19日である。亜種名 ハクセキレイ *Motacilla alba lugens*タヒバリ *Anthus spinoletta*

1999年11月12日にタヒバリと思われる個体を、滑走路東部の芝生上にて4羽観察した。その後12月6日に2羽を観察し、12月18日、2000年1月8日、10日、13日にタヒバリと思われる個体を2~3羽観察。2000年2月6日に2羽を観察した。

CAMPEPHAGIDAE サンショウクイ科

サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*1999年10月17日に滑走路南東部のギンネム林にて1羽を観察した。亜種サンショウクイであった。亜種名 サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus divaricatus*

PYCNONOTIDAE ヒヨドリ科

ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*

全島全域に幅広く分布し、個体数も多く繁殖している。7月下旬に巣立ち直後と思われる幼鳥を1羽観察、親鳥から給餌を受けていた。亜種名 ハシブトヒヨドリ

Hypsipetes amaurotis magnirostris

BOMBYCILLIDAE レンジャク科

ヒレンジャク *Bombycilla japonica*

2000年1月28日に植物園の樹上に1羽を観察した。

TURDIDAE ツグミ科

ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*

1999年12月6日に、滑走路東部及び庁舎地区にて各雄1羽を観察した。同一個体かどうかは不明である。

イソヒヨドリ *Monticola solitarius*

全島全域に分布し、個体数も非常に多い。3月中旬から繁殖活動が始まり、4月上中旬から給餌活動が頻繁に見られるようになった。4月下旬から巣立ち雛を観察し、その後数箇所の巣において6月下旬に2度目の繁殖を観察した。主に建築物の隙間や通気口、岩の隙間等に営巣していた。

ツグミ *Turdus naumanni*

1999年12月12日に滑走路東部の芝生上、2000年3月19日に中央部の池、5月21日に滑走路東部の芝生上に各1羽を観察した。

ZOSTEROPIDAE メジロ科

メジロ *Zosterops japonicus*

ギンネム林全域に分布し個体数も非常に多い。3月中旬から繁殖活動が始まったようであり、2000年4月2日に巣立ち直前の雛を観察した。巣はギンネムの枝上に作られていた。

亜種名 イオウジマメジロ

Zosterops japonicus alani

FRINGILLIDAE アトリ科

カワラヒワ *Carduelis sinica*2000年3月19日に中央部の池付近の荒地上を、40羽前後の群で行動していた。亜種オガサワラカワラヒワ *Carduelis sinica kittlitzii* かどうか

は識別できなかった。

*アカマシコ *Carpodacus erythrinus*

1999年11月19日に摺鉢山中腹にて観察した。大きさはスズメ大であり，背中は茶色で頭と胸が赤かった。ほんの一瞬の観察であり確実な識別はできなかったが，アカマシコ以外に該当する種はないと思われる。

STURNIDAE ムクドリ科

ホシムクドリ *Sturnus vulgaris*

1999年10月31日から12月4日の間に，滑走路東部の芝生上にて1羽を観察した。主にキョウジョシギの群と行動を共にしていた。

ムクドリ *Sturnus cineraceus*

1999年11月23日から2000年3月5日の間に，滑走路周辺にて2羽を観察した。

外来種

GALLIFORMES キジ目

PHASIANIDAE キジ科

コジュケイ *Bambusicola thoracica*

全島全域に幅広く分布し，個体数も多く繁殖している。おもに朝夕に声を聞いたが，3月は一日中あちこちで盛んに鳴いていた。硫黄島にいつ頃持ち込まれたのかは不明である。

謝 辞

海上自衛隊硫黄島航空基地隊の援助，硫黄島の鳥類についてご教示いただいた三原昭男氏，また硫黄島のカモメ類の同定をして頂いた氏原巨雄，氏原道明，池長裕史の各氏には大変お世話になり感謝申し上げます。

参考文献

- 硫黄島航空基地隊．1999．硫黄島のすべて．海上自衛隊，神奈川
- 環境庁自然保護局．1987．大蔵省印刷局，東京
- 高野信二．フィールドガイド日本の野鳥増補版
- 日本鳥学会．2000．日本産鳥類目録．改訂第6版．鳥学会，北海道

山形則男・吉野俊幸・桐原政志．2000．日本の鳥．550．水辺の鳥．文一総合出版，東京

山形則男・吉野俊幸・桐原政志．2000．日本の鳥．550．山野の鳥．文一総合出版，東京

三原昭男．1992．硫黄島に生息する鳥類について

樋口行雄．1984．小笠原諸島の鳥類目録．Strix3:73-87

表1 硫黄島における出現鳥リスト

No.	目	科	種	学名	観察地						
					貯水池	遊走路周辺	植物園	中央部の池周辺	隠跡山	釜岩	監獄岩
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	○						
2	ミズナギドリ	ミズナギドリ	シロハラミズナギドリ	<i>Pterodroma hypoleuca</i>	○	○				○	
3			アナドリ	<i>Bulweria bulwerii</i>							○
4			オナガミズナギドリ	<i>Puffinus pacificus</i>					○	○	
5	ペリカン	ネットイチョウ	アカオネットイチョウ	<i>Phaethon rubricauda</i>	○			○	○	○	○
6		カツオドリ	カツオドリ	<i>Sula leucogaster</i>				○	○	○	○
7		ガンカンドリ	オオガンカンドリ	<i>Fregata minor</i>				○			
8	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	○						
9			ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>	○						○
10			アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	○	○		○			
11			ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	○			○			
12			チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i>	○	○		○			
13			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○		○			
14			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○		○			
15	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>				○			
16			カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>				○			
17			コガモ	<i>Anas crecca</i>				○			
18			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>				○			
19			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	○			○			
20			ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>				○			
21			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	○			○			
22			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	○			○			
23	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>		○		○			
24		ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>		○			○		
25	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	○	○	○	○	○		
26	ツル	クイナ	ヒメクイナ	<i>Porzana pusilla</i>				○			
27			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	○			○			
28			オオバン	<i>Fulica atra</i>	○						
29	チドリ	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>		○		○			
30			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>		○		○			
31			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	○	○	○	○	○	○	
32			タグリ	<i>Vanelhus vanellus</i>		○					
33		シギ	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	○	○				○	
34			トウネン	<i>Calidris rificalis</i>		○					
35			ヒバリシギ	<i>Calidris subminata</i>		○		○			
36			アメリカウズラシギ	<i>Calidris melanotos</i>		○					
37			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>		○		○			
38			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>		○					
39			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>		○					
40			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	○	○					
41			エリマキシギ	<i>Phalaropus pugnax</i>		○					
42			コモンシギ	<i>Tryngites subruficollis</i>		○					
43			コアオアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	○			○			
44			アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	○						
45			アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>				○			
46			クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>				○			
47			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	○	○		○			
48			メリケンキアシシギ	<i>Tringa incana</i>							○
49			キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	○			○			○
50			イソシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>	○	○		○			○
51			ソリハシシギ	<i>Tringa cinerea</i>	○			○			
52			チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>							○
53			タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>		○		○			
54			ハリオシギ	<i>Gallinago stenura</i>		○					
55			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>		○		○			
56		セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>				○			
57		ツバメチドリ	ツバメチドリ	<i>Indian Pratincole</i>							
58		カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	○						
59			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>							○
60			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>							○
61			ワライカモメ	<i>Larus atricilla</i>	○						
62			ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>	○	○					○
63			クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybridus</i>	○	○		○			
64			アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	○						○
65			セグロアジサシ	<i>Sterna fuscata</i>				○			○
66			クロアジサシ	<i>Anous stolidus</i>							○
67			ヒメクロアジサシ	<i>Anous minutus</i>							○
68	ハト	ハト	カラスバト	<i>Columba janthina janthina</i>			○				
69	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>		○			○		
70	ブッポウソウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ	<i>Ugupa epops</i>		○					
71	スズメ	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>		○					
72			ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○		○			
73			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>		○					
74		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	○	○		○			
75			タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>		○					
76		サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>		○					
77		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Ixos amarens</i>	○	○	○	○	○		
78		レンジャク	ヒレンジャク	<i>Bombicilla japonica</i>			○				
79		ツグミ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>		○					
80			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	○	○	○	○	○	○	
81			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>		○		○			
82		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	
83		アトリ	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica minor</i>				○			
84			アカマシコ	<i>Carpodacus erythrinus</i>							
85		ムクドリ	ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>		○					
86			ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>		○					
87	キジ	キジ	コジュゲイ	<i>Bambusicola thoracica</i>	○	○	○	○	○		

List of Birds in Iwo Island. From Oct. 1999 to Aug. 2000.

Ken-ichi Tokita¹ Yoshiaki Watanabe²

Abiko City Museum of Birds. Kohonoyama 234-3, Abiko, Chiba, 270-1145, Japan.

² SM-ASS. Fujigaya, Syounan, Higashikatsushika, Chiba, Japan.